

受 付 番 号	202404		
許 可 番 号	大歯医倫 第 111339 号		
研究課題名	主体的に出産に関与したととらえることができる出産体験		
研究責任者	竹内 佳寿子	申 請 者	丸本 紗奈江
研究終了日	2026 年 3 月 31 日		
所 属	園田女子学園大学	所 属	看護学部
	人間健康学部 人間看護学科		母性看護学領域
職 名	准教授	職 名	助教
申請の概要			

肯定的な出産体験は、子どもを育てやすいと感じ、母性意識の形成・発展を促進させる要因の 1 つとなり、その後の育児や愛着形成にも影響を与え、出産後の自尊感情と心の健康の向上につながることを示されている。先行文献により、肯定的な出産体験に寄与するものは、出産に主体的に関与できたと思えることであることが明らかにされている。

本研究では、吸引分娩・無痛分娩・それら以外の経膈分娩・緊急帝王切開で出産した女性を対象として、出産にまつわる体験（妊娠期から退院までの体験）を半構造化インタビューにより、妊娠中、分娩後の入院中、1 か月健診後の 3 回に分けて聴取する。得られた逐語録からエスノグラフィーを参考に質的分析を行うことで、それぞれの出産様式で出産する女性が出産に主体的に関与する体験を明らかにすることを目的とする。肯定的な出産体験につながる産婦自身の主体的な関与が何かを明らかにすることができれば、それにつながる助産実践・看護ケアの開発が可能になると期待される。

本研究における本学研究者の役割は、主にインタビューの実施と分析である。